

## 令和6年度健全化判断比率等の状況(三島市)(資料編)

### 1 実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①と②の合算額 10.7億円

【早期健全化基準の算定】

$$\left\{ \frac{(23,322,392\text{千円} + 100,000,000\text{千円})}{120 \times 23,322,392\text{千円}} \times 100 + 20 \right\} \div 2 = 12.20\%$$

### 2 連結実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①～⑧までの合算額 40.2億円

【早期健全化基準の算定】

$$12.20 + 5.0 = 17.20\%$$

### 3 実質公債費比率

$$\frac{6.88216(\text{R04単年}) + 6.37931(\text{R05単年}) + 6.24701(\text{R06単年})}{3} = 6.5\% \text{ 小数点以下第2位切り捨て}$$

【令和5年度単年度の詳細】

$$\frac{13.3\text{億円}(1,328,923\text{千円})}{212.7\text{億円}(21,272,955\text{千円})} \times 100 = 6.24701$$

#### 地方債元利償還金及び準元利償還金 44.3億円

①

②

③

④

- ①一般会計・墓園事業特別会計地方債元利償還金 36.3億円
- ②下水道事業会計等地方債準元利償還金 6.9億円
- ③富士山南東消防組合地方債元利償還金三島市負担分 0.8億円
- ④公債費に準ずる債務負担行為に係る支出及び一時借入金 0.3億円
- ⑤公営住宅使用料充当額 0.9億円
- ⑥都市計画税充当額 9.6億円
- ⑦基準財政需要額算入額 20.5億円

#### 特定財源及び基準財政需要額算入額 31.0億円



分子の値  
44.3億円 - 31.0億円 = 13.3億円

#### 標準財政規模 233.2億円

①標準財政規模 233.2億円

#### 基準財政需要額算入額 20.5億円

分母の値  
233.2億円 - 20.5億円 = 212.7億円

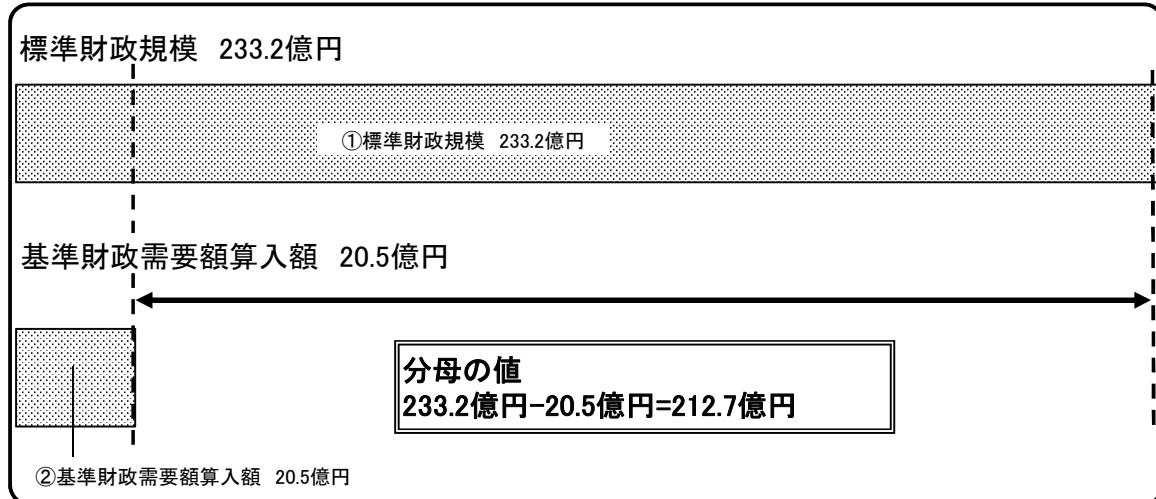
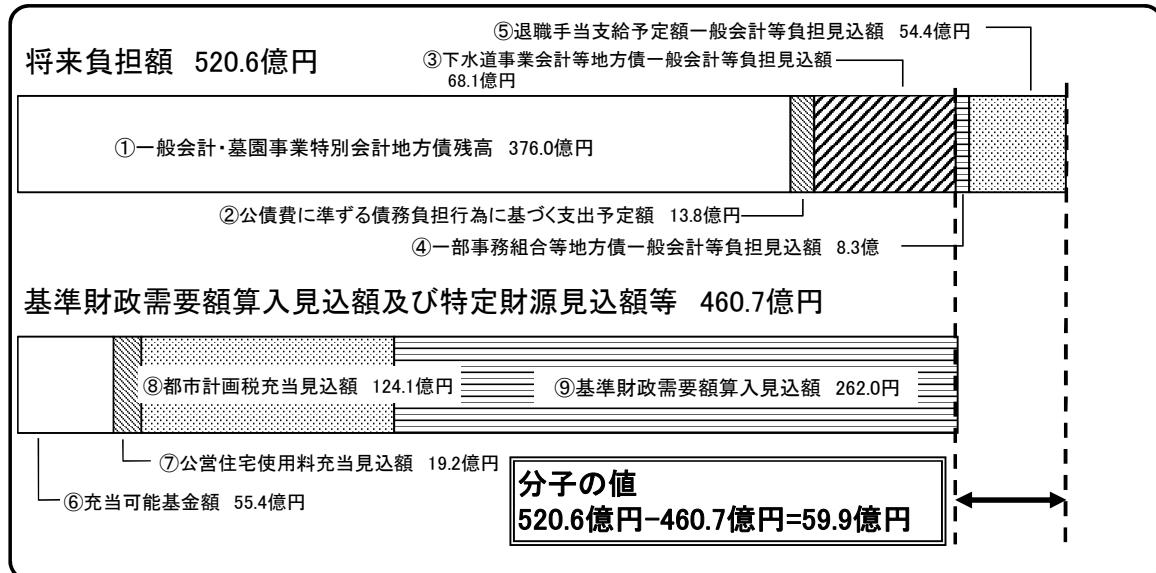
②基準財政需要額算入額 20.5億円

#### 各会計実質収支額・剩余额

会計名	実質収支額・剩余额(千円)
①一般会計	1,067,261
②墓園事業特別会計	5,169
③国民健康保険特別会計	111,917
④介護保険特別会計	716,281
⑤後期高齢者医療特別会計	107,557
⑥駐車場事業特別会計	24,160
⑦水道事業会計	1,711,870
⑧下水道事業会計	275,757

#### 4 将来負担比率

$$\frac{59.9\text{億円}}{212.7\text{億円}} \times 100 = 28.1\% \quad \text{小数点以下第2位切り捨て}$$



#### 5 資金不足比率

対象会計に赤字額は発生していない。

※「1 実質赤字比率」及び「2 連結実質赤字比率」における表「各会計実質収支額・剩余額」参照 ⑦~⑧